



クラブ 会 報

CLUB BULLETIN

(WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB

D-253

創 立 S 34.6.9

承 認 S 34.6.27

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
 例会日 毎 週 火 曜 日 12:30—13:30
 事務所 鶴岡市馬場町 商 工 会 議 所 内
 電 話 0235 (2) 5775

会 長	小 松	松 川	広 穂
幹 事	皆 上	野 橋	英 三
会報委員	高 内	山 垣	耕 喜
	板		俊 次

No., 1036 1979. 12. 3 (火) (晴) No., 23

ウィンター紹介

渡 部 晃 雄 君	仏教一温海 R.C	
佐 藤 拙 君	小 児 科	} 鶴岡西 R.C
佐 藤 幸 助 君	ガス供給	
斎 藤 吉 雄 君	陶管販売	

◆ ゲ ス ト 紹 介

交 換 学 生 ジョン君 米山奨学生 エテバリ君
 市・文化財保護委員 日向文吾氏

会長・幹事報告

会 長 小 松 広 穂 君

1. 悲しい報告ですが小池繁治君のお母さんが、去る29日ご逝去され私がクラブを代表、弔問と葬式に参列して参りました。

LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で 道を照らそう

2. 歳末助け合い運動として

理事会において次のように決定しました。

NHK 20,000円 市社会福祉協議会 20,000円 思恩園 20,000円

幹事 皆川英二君

1. 例会日時、場所変更のお知らせ

余目R.C、立川R.C 2クラブ合同例会のため

日時 12月6日(木) PM 6:00~8:00

会場 草薙温泉滝沢屋旅館 会費 4,000円 12月7日の例会は休会

2. 会報到着 石巻R.C

◆ゲストスピーカー紹介

佐藤忠君

皆様ご存知の通り、日向先生は鶴岡市に於ける文化活動の大御所として、広い分野でご活躍されて居ります。本日は“庄内の文化”につきまして、お話をお願いした次第であります。

◆ゲストスピーチ 庄内の文化

日向文吾氏

私は、鶴岡市文化財保護審議委員を仰せつかって居ります。そうした関係で、庄内の文化財に関する、正面からの話題でなく、こぼれ話、裏話などをご披露したいと思います。

鶴岡市を中心として周辺には、藤原、鎌倉時代の文化的遺跡、遺産は相当点在しております。これは鶴岡市のひとつの特徴とも云えます。近年そうした遺跡、遺産は概ね調査され、リストも出来上がって居りますが、ある日突然、貴重な文化財が発見されるというケースもあります。今日の新聞・テレビにも、酒田市の城輪遺跡から、日本最古とみられる将棋の駒が発見されたとあり、その発見された建物跡は、平安時代末期の国の出先機関“出羽国府”の跡らしいと報導されて居ります。

話は変わりますが、昭和40年頃と記憶しますが湯田川温泉郷の奥に、町田川と云う部落があり、其処の小学校長菅原謙二先生達が田川から湯田川への旧道を歩いた事があります。田川を出発して間もなく、左手に這入る山路を峰伝いに参りますと、お堂の跡のような平地があり、そこに、異様な大きな石が2個ありました。人工の様子が微かに窺えるのですが、何んだか判りません。不思議に思われますので、当時、山形市の文化財保護審議委員で、石造文化に造詣の深い武田好吉氏に鑑定を依頼し、現地にご一緒致しました処、その異様な巨大な石は、笠塔婆と云う石造の塔婆で、鎌倉時代の作、笠の下に仏像が浮彫りしてあるのですが、長い年月の経過で、彫りは判然としませんが、その仏像は阿弥陀像であろうとの武田氏の判断でした。

もう一基は5尺余りの石像ですが、当時は新潟県から葡萄峠を越えて関川一木野侯一菅野代一鬼坂を越えて一田川一峰伝いに湯田川一庄内平野へと、その庄内の元関口である田川街道の山路にあった大日堂の石仏である事が判明した次第です。この道路は鎌倉時代に開通され、庄内への文化交流には重要な交通網の一環でありました。この種の石像仏は、東北には従来福島県で一基発見されてあるので、庄内のこの二基は東北2番目の発見で、誠に貴重な石像といえます。

次は、荒町山王神社にまつわるお話。4、5年前、ご本殿の屋根解体修復工事

の折、その最中に、ご神体が盗難にあいました。紛失の数日後のある日、神社の近くを、布で包んだ物を持つ不審な男が居り尋問、追求したところ、その男は軽度のノイローゼ患者でしたが、その布包みこそ、ご神体であったのです。返還を迫りましたが、その男は自分の物だと主張、返還に応ずる様子なく、是非なく警察のお力を借りましたが、確証となるものなく、これも空張りとなり、遂に、神職自から辞を低くしてくだんの男の家に行き、やっと、ご神体返還となりました。その節、ご神体を包んであった布に、何やら文字が書かれてあるとの事で、それを拝見する事が出来ました。その文字とは……

奉掛山王権現廿一社御宝前打繩一筋諸願成就之事

下時 慶長十六年 歳 頭 五月廿八日願主襲白

とありました。打繩とは鈴を鳴らす振り紐の事のようにです。処がこの時又、この布地が問題となりました。誠に立派な金襴の布であります。そこで、この布の切れ端を、東京国立博物館染色専門家の山野辺知行先生に送り鑑定を依頼した処、この布は、5枚縹子地、萌黄地金襴、製法は燃金糸織込み一芯の糸に金箔を巻いたもの一誠に行き届いた製法であることが判りました。

尚、布の織り方や図柄は非常にエキゾチックで、西方の影響を受けており、11、12世紀のベルシャ風であるが、ざくろの文様から判断すると中国、明時代中、後期上限15世紀頃の製作で、依って中国製である確証を得ました。

日本に於ける金襴の技術は、江戸時代からで、能装束でも桃山時代のものには金襴はありません。酒井家が、黒川能へ贈った能装束も、江戸時代のもので、これは金襴であります。当時としては、金襴は大変高貴なもので庶民の手の遠く及ばぬ品であった事が窺えます。処で、慶長16年(1611)は最上義光公が、山王神社再興に、鰐口、鉄鉢を4月14日に奉納、4月申の日16日に当屋に賄を賜わるとあり、更に6月4日は庄内の寺社に黒印状を奉納するという、誠に篤信の年でありました。ご神体盗難事件が計らずも、380年前の文化発掘の端緒となる、幸運に恵まれた次第であります。

◆修学旅行

ジョン君

11月26日(月)から30日(金)まで、鶴岡工業高等学校の2年生の修学旅行がありました。その準備には先生、生徒が一緒になって、懸命に働き、私のクラスも例外ではありませんでした。

26日(月)の9時16分、鶴岡駅発で、9時間の汽車の旅で京都に着きました。この汽車の往復の時間は、浪費のようで、少し残念に思いましたが、それ以外は大変たのしい旅行でした。

27日(火)私たちは平安神宮—銀閣寺—二条城—東映映画村—金閣寺と観光しましたが、やはり、金閣寺が一番印象に残りました。

28日(水)自由行動の日でした。私の班は三十三間堂—大阪城—道頓堀—梅田等を見ました。三十三間堂と大阪城は実によかった。

けれど私はチャルトンのような小さな町から来た者なので、大阪のような大都会には馴染めないのを感じました。

29日(木)私達はバスで奈良に行きました。薬師寺—法隆寺—大仏を見ました。奈良は京都より良い所だと思いました。

30日(金)また9時間の汽車の旅で無事に鶴岡に帰りました。

今回の旅行で私は、日本の古い歴史と文化に触れることが出来、更に、日本の多くの学生と友情を深める、チャンスを与えて下さった皆さんに、心から感謝いたします。有難うご座いました。

委員会報告

◎親睦活動委員会

手塚 林 治 君

会員誕生 野村敏行君、菅原辰吉君、鈴木弥一郎君、津田晋介君
 奥様誕生 皆川律子様、迎田恵美子様、森田武子様、佐藤貴美子(順治)様

◎出席委員会

早坂 徳 治 君

年間皆出席表彰

- 年間皆出席 10年間皆出席 中江 亮 君
 9年間皆出席 富 樫 良 吉 君
- 11月125%出席 2名 藤川亮胤君、佐藤順治君
- 11月100%出席 49名

阿蘇君、阿部(襄)君、安藤君、張君、早坂(源)君、早坂(徳)君、飯白君、五十嵐君、石井君、石黒君、坂垣(俊)君、市川君、風間君、川村君、黒谷君、小池君、小松君、三井(徹)君、三井(賢)君、三井(健)君、皆川君、嶺岸君、迎田君、本山君、森田君、諸橋君、中江君、中野君、中村君、西海君、野村君、小野寺君、佐藤(昇)君、佐藤(忠)君、佐藤(衛)君、佐藤(友)君、横田君、新穂君、菅原君、菅君、鈴木(善)君、鈴木(弥)君、高岸君、丹下君、手塚君、富樫君、上野君、山口君、吉野君

◆ス マ イ ル

富 樫 良吉君 — 労働大臣より表彰状受賞して。

丹下誠四郎君 — パー・モロゾフ創業15周年記念に当り。

出席報告

本日の出席	会 員 数	72名	欠席者	阿部(襄)君、阿部(与)君、中村(真)君、石井君、石原君、坂垣(俊)君、坂垣(広)君、風間君、金沢君、川村君、黒谷君、小池君、三浦君、宮沢君、本山君、森田君、熨斗君、高橋(耕)君、玉城君、山口君、吉野君
	出 席 数	51名		
	出 席 率	70.83%		

前回の出席	前回出席率	79.17%	メ ア ッ ク ブ	三井(徹)君—郡山西R.C 早坂(源)君—I.G.F山形西R.C 佐藤(忠)君—酒田R.C 藤川君、迎田君—R.A.C 野村君、中野君 丹下君、上野君—鶴岡西R.C
	修正出席数	66名		
	確定出席率	91.67%		